

1-3 腎臓内科

一般目標（G I O）

社会人および医師として的人格を養い、将来の専門性にかかわらず 医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるプライマリケアの基本的な診療能力を身につける。地域の患者さんに対し、高度急性期から慢性にわたる広い分野にわたって良質な医療が提供できる素養を養う。

また、研修医に求められる腎臓疾患を中心とした内科系疾患の診断治療が行える。（膠原病、高血圧、電解質異常、酸塩基平衡異常を含む。）

行動目標（S B O s）

1. 腎臓内科で追加される目標
 - ① 腎不全患者教育を行う。
 - ② 腎機能障害のある患者に適切な薬剤投与ができる。
 - ③ 急性腎不全、脱水、高カリウム血症、代謝性アシドーシス、緊急透析（透析用カテーテル挿入）、高血圧性緊急症等の緊急時に対応ができる。
 - ④ 人工透析および透析患者について理解する。
 - ⑤ 腎炎についてその種類・鑑別・治療について述べることができる。
 - ⑥ 糖尿病性腎症の各病気の患者の診察を行う。
 - ⑦ 膠原病の診療を経験する。
 - ⑧ 内シャント増設術に参加する。
2. **基本的検査**について、ここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 一般尿検査
 - ② 一般血液検査
 - ③ 心電図
 - ④ 動脈血血液ガス分析
 - ⑤ 免疫学的検査
 - ⑥ 細菌検査
 - ⑦ 細胞診・病理学的検査
 - ⑧ 超音波検査
 - ⑨ 単純X線検査
 - ⑩ CT検査
 - 11 MRI検査
 - 12 核医学検査
3. **基本的手技**についてここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 各種採血
 - ② 導尿
 - ③ 局所麻酔法
4. **消化器内科で経験すべき症候・疾病・病態**（サマリーと必要事項の記載された用紙を提出）
 - ① 体重減少

- ② るい瘦
- ③ 発熱
- ④ 意識障害
- ⑤ 視力障害
- ⑥ 呼吸困難
- ⑦ 腹痛
- ⑧ 排尿障害
- ⑨ 興奮
- ⑩ せん妄
- 11 終末期の症候
- 12 腎盂腎炎
- 13 尿路結石
- 14 腎不全
- 15 糖尿病

方略（LS）

1. オリエンテーション
 - ① 目標・スケジュールの確認を行う。
 - ② 病棟等関係部署で自己紹介を行う。
2. 病棟研修
 - ① 上級医とともに担当患者を、毎日回診し、問診、身体診察、検査結果の評価、治療計画の妥当性を検討する。
 - ② 主治医の指導を受けながら、診療情報提供書や各種診断書などの書類、退院時サマリーを記載する。
 - ③ 総回診、カンファレンスでは、担当患者について、簡便に過不足なく提示する。
 - ④ 内シャント増設術に参加する。
3. 外来研修
 - ① 上級医の外来診療に同席し、定期受診患者、初診患者の診察。日常生活のマネージメントについて勉強し、疾患に特徴的な症状・診察所見について学習する。
 - ② 受け持ち患者の外来受診に同席し、退院後のフォローについて学習する。
4. 救急外来研修
指導医とともに診察を行い、診断に必要な検査のオーダーとプライマリケアを行う。
5. 各種カンファレンス・勉強会に参加する。
6. 自主学習
 - ① 図書館の書籍、インターネット、DVDも活用して知識（ガイドラインなど）、手技、態度を学ぶ。
 - ② スキルラボにて手技の習得を行う。

評価（Ev）

評価は、内科プログラムの評価に従い、観察記録とし、研修医および指導医が1か月毎に行う。

スケジュール

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|--------|--------------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 午前 | 一般外来研修 | ブリーフィング 透析回診 腎生検見学 | ブリーフィング 透析回診 腎生検見学 | ブリーフィング シャント手術 | ブリーフィング シャント手術 |
| 午後 | 病棟回診 | CAPD外来見学 | 病棟回診 カンファレンス | CAPD外来見学 | 病棟回診 |

- ・ 月～金 《 8：40～ 》 : ブリーフィング（透析室）
- ・ 第2水曜日 《 12：30～14：00 》 : 腎不全教室（第3会議室）
- ・ 第1火曜日 《 16：00～17：00 》 : 腎臓ケア部会（透析室）